



第一中学校 3 年生の平和宣言

本校が 3 年生の修学旅行としての長崎における平和学習は、平成 1 4 年度から始まり、コロナ禍での行くことができなかった年代もありますが、2 0 年以上続いている歴史があります。広島、長崎に原爆が投下され、第 2 次世界大戦が終結してから今年で 8 1 年を迎えましたが、いまだに世界各地で戦争や紛争が続き、日本にも経済的な影響があり、中学生として他人事ではなく、自分事として考えていく力を身に付けていく必要性を強く感じています。

今年度、長崎研修を終えた 3 年生が研修で学んだことを「平和宣言」として、1, 2 年生に力強く語ってくれました。改めて、保護者の皆様や地域の皆様にもお伝えします。

【第一中学校 3 年生「平和宣言」】

私たちは、長崎の爆心地に行ってきました。その場所で、かつて多くの尊い命が失われ、人々の当たり前の日常が一瞬にして奪われました。その事実直面し、私たちは平和の尊さを改めて深く胸に刻んでいます。

事前の平和学習で、私たちは被爆された方々の歩みを知りました。深い苦しみや悲しみを抱えながらも、「二度と同じ悲劇を繰り返してはならない」と、今日まで必死に願いを伝え続けてこられた姿が、強く心に残っています。しかし、戦争は過去の出来事ではありません。今も世界では争いが続き、多くの人々が不安や恐怖の中で暮らしています。今なお核兵器の脅威が存在するという現実、私たちは強い危機感を抱いています。

私は、長崎や広島で原爆が落とされて、「二度と同じことを繰り返してはならない。核兵器をなくすべきだ」とずっと諦めず、訴え続けている方々の姿がとても印象に残りました。また、私たちは、SNSを通して世界で起きている出来事をすぐに関心できる時代を生きています。だからこそ、遠くの争いや苦しみに無関心でいるのではなく、平和のために自分に何ができるかを考え続けていきます。

相手の思いを受け止めること

違いを認め合うこと

仲間を大切に、自らの言葉や行動に責任をもつこと

温かい言動を増やすこと

私たちは、この身近な一歩から、平和への行動を積み重ねていきます。そして、長崎で学んだこと、感じた痛みを決して忘れず、学びを未来へと語り継いでいくことを誓います。二度と戦争や核兵器によって悲しむ人が生まれない未来を願い、私たちの平和宣言といたします。(一部省略)

今年も 8 月 6 日に広島で、9 日は長崎でそれぞれ平和式典が行われました。広島の平和式典では、地元の小学 6 年生が「平和の誓い」を朗読し、その中にも「相手の気持ちを想像し、意見の違いがあっても認め、受け止めること。平和への思いを、自分なりの方法で表現すること。一人一人の小さな行動が、平和への後押しとなります。」という一文がありました。誰もが安心して力を発揮できる学校を目指していく上で一中の伝統である平和学習を大切にしていきたいと考えています。



【お知らせ】学校の様子は下記 URL の学校ホームページでも随時紹介していきます。ぜひご覧ください。

(https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/soshikikarasagasu/school/daiichi_jhs/index.html)

